

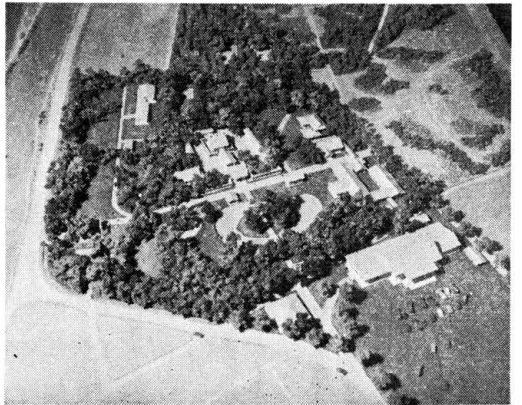
御復興事業 中間報告

皆様の御協賛を得て 祈願殿完成目前に

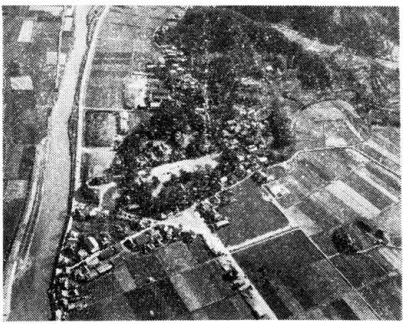


宗像大社復興期成会 事務局長 内田 澄

皆様の御協賛を得て、祈願殿完成目前に。宗像大社復興期成会事務局長の内田澄氏が、復興事業の進捗について報告している。



祈願殿の修復作業が順調に進んでおり、完成目前に近づいている。



建設現場の様子。基礎工事と柱工事の進捗が確認できる。

祈願殿の修復作業が順調に進んでおり、完成目前に近づいている。

瑞穂国と過剰米

瑞穂国と過剰米。農業の機械化と効率化が進み、米の生産量が需要を上回ることで過剰米が発生している。政府はこれを海外へ輸出する政策をとっている。

工事省工以来、十月有余を盡す。重く移りまして、今も高層の御受渡と御協賛を賜りまして、御報告を申し上げます。

（宝物館 御案内）

沖ノ島 未公開神宝特別展を正月に。本館指定を受け、当社宝物館に収蔵されている神宝を展示する。

海正倉院 沖ノ島 未公開神宝特別展。昭和四十六年一月一日〜一月三十一日。宗像大社宝物館で開催。



このよのひと 神湊

神湊の物語。沖ノ島に伝説的な神宝と関連する伝説的な話。島の歴史と文化を詳しく紹介している。

すばる(その四) 舟草崎の沖ノ島。神湊の物語の続き。島の風景と伝説を詳しく描写している。

宗像大社復興事業中間報告

工事進捗状況写真集

復興の槌音

神苑にこだまして

多年の宿願であった当社復興事業は、遂その時を待たず、雄音も高らかに復興工事は、今正にたけなわである。工事進捗状況に就いては、本誌を通しての都度詳細にお知らせしてまいり、ここに再び写真を交えながら、工事経過の概況をうかがえてみたい。

本事業の中心をなすものは、本殿の修理事業である。当宮本殿は、桃山時代の代表的建物として国の重要文化財に指定されているが、建築以来既に四百年以上の歳月を経て損傷も甚し、修理の要に迫られていたが、この度、国の文化財保存修理の指を受け、文化庁指導監督の下、解体修理施工が決定した。

これに基づき、昨年七月より工事着手、先ず本殿全体を大きな素屋根で覆い、その中慎重な解体工事を進められ、解体後は損傷部分を補修し、更に白蟻の駆除除根を行った後再び建物の組立工事が行われ、本年夏に屋根工事施工に建設し、参拝車庫は、既に二

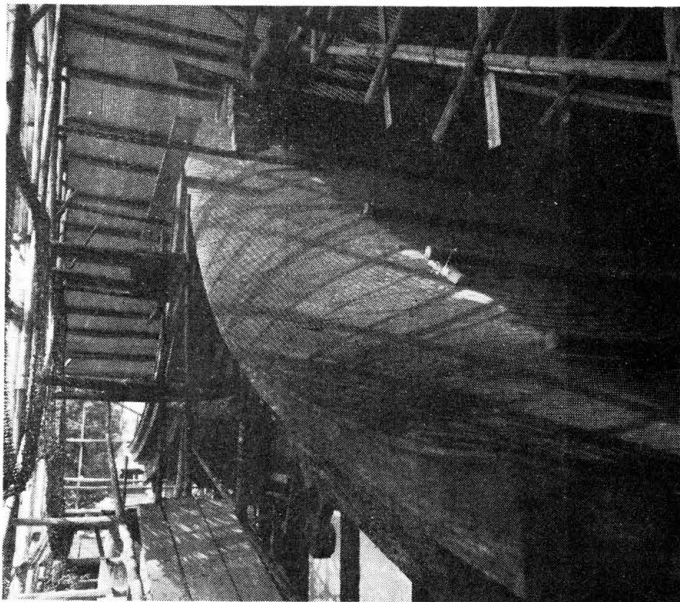
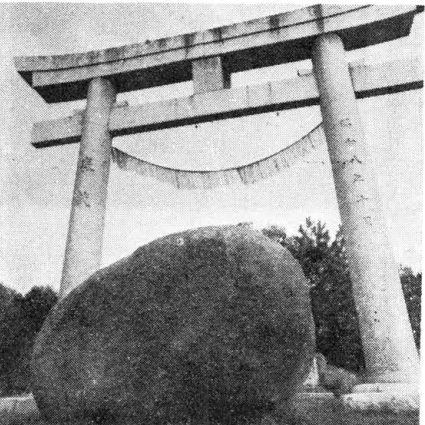


写真 上 御修理中の本殿
中上 御屋根替中の境内末社群



写真 中下 植樹された高宮参道
写真 下 大鳥居下におかれた手水石



御修理中の本殿
本殿屋根を覆っているのが、素屋根で、左側に工事用の足場がつけられている。只今塗装工事が進められ、創建当時の木色が鮮やかに復元されている。

御屋根替中の境内末社群
本社には、すれも腐根の傷みが甚だしい。二十三の末社はずべて補修工事となる。

植樹された高宮参道
旧参道がカーブしていたが、新設された参道は直線と幅員もメートルに拡張され、来年度は玉砂利が敷きつめられる。

手水石
八幡宗像会から献納された手水石。来年から石に加工され、橋脚側へ右側に据付けられ予定。尚、手水石は上層が建設される。

水道施設(給水塔)
境内左方にそびえているのが給水塔で、高さ三十二メートル。最上部一段が給水塔になっている。水道施設(浄化槽)
浄化槽は三基あつて、交互に運転されている。手前みどろの小さな建物の脇に水源の井戸が掘削されている。

四圍
写真説明上段一号遺跡
旧参道と現在の参道が交差するところのすぐ右側にあつて、遺物が表面に露出して無数に点在している。一見祭祀に使用した器具類をたらしめられていたが、左から調査の結果祭祀場であることが確認された。

遺物取り上げる前の段階で撮影したものである。

中段二二号遺跡
油津宮を中心とした祭神遺跡群から、離れ、昔の軍用馬車道(段)の道と交差するところの東側にあつて、今調査で新しく発見された遺跡である。

下段四号遺跡
通称お釜蔵とも云われ、祭神遺跡群の中心にあつて、B号層の下にあり、今回の調査では掘削研究を中心としたところから遺物の発見を見る。

奈良三彩
今調査発掘の中で最も貴重な遺物の一つ奈良三彩である。これは一号遺跡から発見され、計九ヶの三彩を産出している。

旧来の技法を踏襲して木曾のさわらの小板による所謂「桐貫」の屋根が美事に葺き上げられた。現在最終工程である塗装工事が進められていて、この修復工事は極めて順調に進行し、当初計画通り来年六月は完成の子である。そして、この本殿修復工事の工程と歩を合わせ、他の諸工事も二階に完成すべく復興計画を働かされてきたが、この問題を解決する為宝物館に井戸を掘り、その横に浄化槽を設け、ここから高さ二十

七米の給水塔を揚水し、常時落差により境内各所に給水している一連の給水設備を完成、一日約七十程度の給水が可能となり、今後建設される諸建物の水の需要に対処し得る態を整えることが出来た。

一方、排水についても、当社境内は低地形に加え地下水が高く、神社排水溝は滞溜して満水状態になり、境内の樹木は著しく生育を阻害されていたが、この弊害を解決すべく抜本的排水計画を樹、約三百米に及ぶ距離に内径七十センチのヒューム管埋設し、常時落差にも排水が可能となり、永年の懸案も遂に解決されるに至った。

昭和四十三年から四十四年にかけて、前述の用地買収及び埋立工事、更に給排水工事等、復興事業の基礎となるべき諸懸案が解決し、本年三月、待望の新願がて行われている。

事業の一環として施工されているものである。全事業の勝は本殿周辺の補修は全く面目を一新することである。

以上今日までの工事進捗の状況



上 水道施設の給水塔
下 参拝者無料休憩所



収容し、境内への車輛進入は今後一切禁止する方針が樹てられた。これに基づき、先ず右願殿及び大駐車場建設用地約二坪の買収交渉が昭和四十三年の初頭から開始された。右用地内には九戸の民家と、約一町五反の水田が含まれ、交渉は困難が予想されたが、遂には、本事業の理解、協賛を得て全面的買収を完了、第一の難関を克服することが出来た。

一方、これと併行して、当社本年の懸案であった給排水設備も次々に完成した。従来、当社給水設備は極めて給水量不足に悩まされてきたが、この問題を解決する為宝物館に井戸を掘り、その横に浄化槽を設け、ここから高さ二十

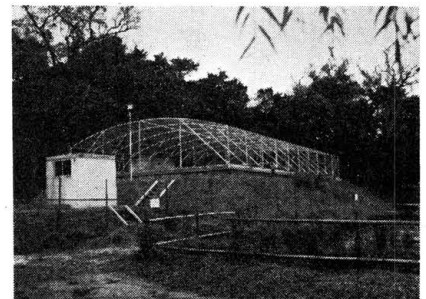
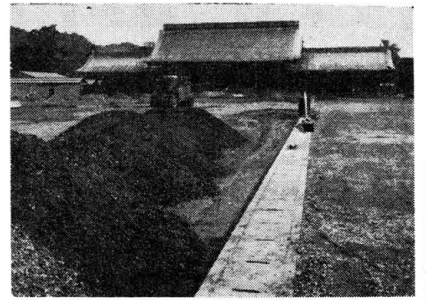
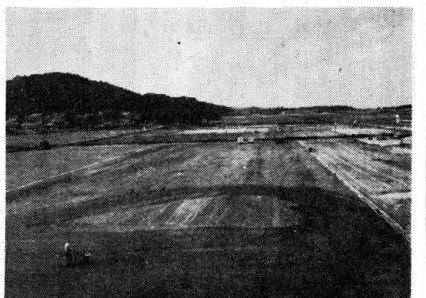


写真 上 宗像大社の水道施設(浄化槽)
中 新祈願殿正面の舗装



下 新祈願殿前面の駐車場



こうした前面近代化的な工事を施したが、来年は年明けには対照的に本殿周辺を囲む二、三社の柱束の修復事も本手水石の新築、神饌所、遊廊の改築、造園植栽等の諸工事が、逐次で事が進められている。これらの社殿は三百年以上の歳月を経たものもあり、かねから修復の要があるが、同期的にもうさき千余坪の完全舗装の大駐車場と相俟って、神社界には画期的、ユニークな建物といえる。

写真説明(三画)

海の正倉院

第二次沖ノ島調査 第三回

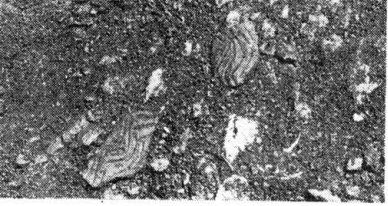
古代祭の遺跡として一躍脚光に上つて行われた。当社ゆかりの神楽の海軍から北...



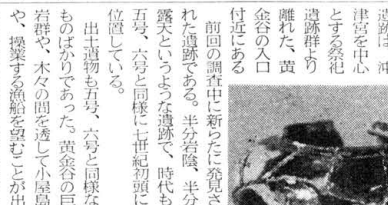
調査第一回は九月十七日から十月十日まで、三週間以上の長期...



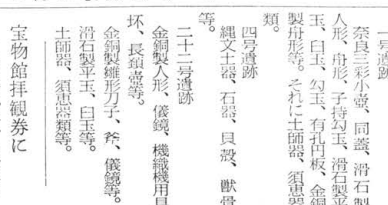
祭行を行った跡と見られる。光善衛門サリに於いて第一...



これはお祭り毎に場所を変えたものでなく、前にお祭りしたものを取り除いた後に再び行な...



この調査は中絶した。祭壇の西側に約四四方に張り出した部分に付設し、ア...



祭壇の西側に約四四方に張り出した部分に付設し、ア...



祭壇の西側に約四四方に張り出した部分に付設し、ア...

船に調査に必要な機材を積載して神楽を出発した。先発隊員十一名、一行は日本...

今回の調査では、多量の土師器、須恵器、滑石製形類に...

祭壇の西側に約四四方に張り出した部分に付設し、ア...

祭壇の西側に約四四方に張り出した部分に付設し、ア...

祭壇の西側に約四四方に張り出した部分に付設し、ア...

祭壇の西側に約四四方に張り出した部分に付設し、ア...

祭壇の西側に約四四方に張り出した部分に付設し、ア...

祭壇の西側に約四四方に張り出した部分に付設し、ア...

祭壇の西側に約四四方に張り出した部分に付設し、ア...

祭壇の西側に約四四方に張り出した部分に付設し、ア...

宗像義軍河津党



城をはじめ各地の敵の回廊を探らしている。然し、長くは...

城をはじめ各地の敵の回廊を探らしている。然し、長くは...

城をはじめ各地の敵の回廊を探らしている。然し、長くは...

城をはじめ各地の敵の回廊を探らしている。然し、長くは...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

失地回復の執念に燃える氏直は、陣の部をば、相討し、大島から...

宗像伝説 其の一〇六 「樽見峠と河童」

宗像と遠都郡との郡境に南から西に走る山脈があり。これを西...

宗像と遠都郡との郡境に南から西に走る山脈があり。これを西...

宗像と遠都郡との郡境に南から西に走る山脈があり。これを西...

宗像と遠都郡との郡境に南から西に走る山脈があり。これを西...

宗像と遠都郡との郡境に南から西に走る山脈があり。これを西...



宗像と遠都郡との郡境に南から西に走る山脈があり。これを西...

